



MORITA GROUP

MORITA REPORT 2013

株主・投資家のみなさまへ

第81期中間報告書

2013年4月1日から2013年9月30日まで



MORITA

証券コード:6455

モリタトピックス

■ 東京国際消防防災展2013にて 革新的な発想と最新技術を披露

本年10月に東京国際消防防災展2013が東京ビッグサイトにおいて開催され、4日間で延べ約12万5千人の方が来場されました。東京から最新の防災技術、施策等を国内外に広く紹介し、消防・防災に関する情報発信・交流の場となることを目的に開催された今回の展示会でモリタグループは、モリタホールディングス・モリタ・モリタテクノス・モリタ防災テック・宮田工業の5社が革新的な発想と最新技術を搭載した消防車、消防救助用資機材、防災関連機器などを出展いたしました。また、35mはしご車の試乗体験や、JAZZピアニスト山中千尋さんによるSPECIAL JAZZ LIVEを開催するなど、スタッフ全員がおもてなしの心でみなさまをお迎えいたしました。



今回の展示会では次世代型車両として『MVF』（13mブーム付多目的消防ポンプ自動車）と『MFF』（水槽付消防ポンプ自動車）を参考出展いたしました。

『MVF』は、地上高約13.7mマイナス約2.1mまで届くバスケットとフレキシブルなブームを有し、多種多様な救助現場での活躍が期待されます。また、救助だけでなく高所からの放水も可能で、新型CAFS装置も搭載。消火&救助&資機材収納に優れた消防車両です。

一方、『MFF』は、新型CAFS装置と1,500LのPPタンクを装備し、水槽車の機能に加え、コンパクトで軽量なアルミ製一段ポリュート式ポンプ「MZ I」を搭載することで多くの収納場所を確保。多彩な機能と特徴あるデザインで水とともに安心を運ぶ水槽付ポンプ自動車です。



他にも、フロントガラスを大きくとった近代的なデザインで、広い視界を確保した、空港用化学消防車を参考出展し注目を集めました。



また、はしご車の上下を移動するリフターの自動充電を実現させたL-CHA (Lifter Battery Charging System) や、はしご車の状態を警報音と



ともに音声による案内を行うL-VAS (Ladder voice assistance system)、車体デッキに沿ったEL式ステップ灯で夜間作業の安全を確保するルミナスセーフティ (Luminous Safety) など、使いやすさと安全を追求した新アイテムの提案も行いました。

当社の主力商品では、水と泡消火薬剤の混合液に圧縮空気を圧入して泡放射で消火するCAFSを屋外展示場で実演し、放水威力と操作性について多くの来場者の方にご覧いただきました。

このCAFS搭載車両はすでに日本の年間需要台数の約4分の1を占めており、今後も当社の戦略商品として普及拡大を推進してまいります。



当社は、心を入れたモノづくりと、耐えざる技術革新によって「安全で住みよい豊かな社会」の実現に向け、今後も多様な災害に対応できる商品の開発に取り組んでまいります。

トップメッセージ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社第81期の中間報告書をお届けするにあたり、営業の概況についてご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期におけるわが国経済は、政府による経済対策、金融政策を背景に、一部に景気回復の兆しが見られたものの、円安進行による原材料価格の上昇や海外経済の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進を図るとともに、新製品の開発に取り組んでまいりました。

当第2四半期の経営成績につきましては、売上高は前年同期比48百万円増加し、23,972百万円（0.2%増）、営業利益は前年同期比106百万円減少し、1,028百万円（9.4%減）、経常利益は前年同期比71百万円減少し、1,084百万円（6.2%減）、四半期純利益は前年同期比40百万円減少し、519百万円（7.2%減）となりました。

なお、当社グループのセグメント毎の業績は次のとおりです。消防車両事業は、好調な受注が業績を牽引し、売上高は8,646百万円（前年同期比7.8%増）。防災事業は、スプリンクラー設備工事の選別受注に加え、消火器及びスプリネックスの販売が第4四半期に偏重する見通しであるため、売上高は7,317百万円（前年同期比9.9%減）。産業機械事業は、製品の納入が予定通り進捗したこともあり、売上高は2,232百万円（前年同期比0.9%増）。環境車両事業は、受注が好調に推移しており、売上高は4,600百万円（前年同期比5.7%増）。自転車事業は、ス

スポーツ車の販売が伸長したものの、軽快車の販売が低調であったこともあり、売上高は1,175百万円（前年同期比3.5%減）。以上の結果となりました。

今後の見通し

以上のとおり、当第2四半期における当社グループの業績は、消防車両事業及び環境車両事業の業績が順調に推移していることから概ね堅調に推移いたしました。引き続きわが国経済は予断を許さない状況が続くものと思われませんが、今後も積極的な営業活動に努めるとともに、原価低減及び生産の効率化を促進し、収益確保を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月

代表取締役社長 中島 正博

連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成24年9月30日現在)	当第2四半期 (平成25年9月30日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産	35,968	36,349	40,404
固 定 資 産	36,965	41,283	37,728
資 産 合 計	72,933	77,632	78,133
負 債 の 部			
流 動 負 債	21,991	25,467	26,908
固 定 負 債	14,648	12,181	12,027
負 債 合 計	36,639	37,648	38,935
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	36,372	39,145	38,989
資 本 金	4,746	4,746	4,746
資 本 剰 余 金	3,742	3,743	3,742
利 益 剰 余 金	28,927	31,719	31,557
自 己 株 式	△1,044	△1,063	△1,056
その他の包括利益累計額	△1,294	△430	△1,001
その他有価証券評価差額金	92	1,210	961
繰延ヘッジ損益	△6	2	9
土地再評価差額金	△1,066	△1,774	△1,774
為替換算調整勘定	△313	130	△198
少数株主持分	1,216	1,268	1,209
純 資 産 合 計	36,294	39,983	39,197
負 債 純 資 産 合 計	72,933	77,632	78,133

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前 期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
売 上 高	23,923	23,972	67,140
売 上 原 価	17,519	17,441	49,837
売 上 総 利 益	6,404	6,531	17,303
販売費及び一般管理費	5,269	5,503	11,037
営 業 利 益	1,134	1,028	6,266
営 業 外 収 益	200	228	555
営 業 外 費 用	179	172	392
経 常 利 益	1,155	1,084	6,429
特 別 利 益	0	11	68
特 別 損 失	172	170	1,688
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	984	925	4,808
法 人 税 等	470	485	2,020
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	513	439	2,788
少 数 株 主 損 失	45	79	79
四半期(当期)純利益	559	519	2,867

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前 期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△777	△2,394	5,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,039	△3,878	△1,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325	3,029	△3,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	69	64
現金及び現金同等物の増減額	△2,122	△3,174	81
現金及び現金同等物の期首残高	8,667	8,748	8,667
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	6,545	5,574	8,748

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

(平成25年9月30日現在)

■ 概要

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	明治40年4月23日
設立	昭和7年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪府中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間接業務の受託

■ グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 〔はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防車両並びに特殊車両の開発・製造・販売〕
株式会社モリタ防災テック	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階 〔消火器を中心とした各種防災機器の販売、防災設備の設計施工並びに保守点検〕
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 〔リサイクル処理施設、その他各種ゴミ処理施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の開発・製造・販売〕
株式会社モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号 〔衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・製造・販売〕
株式会社モリタテクノス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号 〔消防車両・救助用資機材等のアフターサービス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・情報処理機械器具の開発・製造・販売〕
宮田工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市下町屋1丁目1番1号 〔消火器を中心とした消火関連機器、消火装置、その他各種防災機器・設備の開発・製造・販売〕
株式会社ミヤタサイクル	東京都港区西新橋3丁目25番31号 〔各種自転車の開発・製造・販売〕

株式会社 モリタ総合サービス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
株式会社 ア ル ボ	静岡県磐田市上神増1479-1
株式会社 モリタユージー	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階
株式会社 モリタエンジニアリング	大阪府八尾市神武町1番48号
株式会社 北海道モリタ	札幌市東区苗穂町13丁目2番17号
鹿児島森田ポンプ株式会社	鹿児島市松原町12番32号
株式会社 モリタ東洋	三重県伊賀市佐那具町金神塚1700番地の2
上海金盾特種車輛裝備有限公司	中国上海市浦東新区書院鎮麗正路1515号
南京晨光森田環保科技有限公司	中国南京市江寧經濟技術開發区 天元中路188号
四川森田消防裝備製造有限公司	中国四川省成都市温江区成都海峡兩岸科技园新華大道一段8号
康鴻森田(香港)有限公司	Level 12, 28 Hennessy Road, Wanchai, Hong Kong

株主メモ

■ 株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<http://www.morita119.com/kohkoku/index.html>

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所 東京証券取引所

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

<http://www.morita119.com>



モリタオリジナルグッズ通販サイト
「モリタネットショップ」

<http://morita119-netshop.com/>

人と地球のいのちを守る

MURITA

株式会社 モリタホールディングス

大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号 ☎06-6208-1907

東京本社 〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号 ☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。